

歴史遺産活用事業「札の辻プロジェクト（仮称）」

○事業概要

大津百町を中心と言われた札の辻は、旧東海道・北国海道を歩く人や、まち歩き立ち寄り所となる歴史的遺産の場所であるが、道路元標があるだけで、旧札ノ辻駅乗客待合所は空き家となったままである。平成30年度には電線地中化が完了予定で、整備後、沿道に核となる観光案内拠点が必要である。現在、空き家となり、6月末には更地となる京阪電気鉄道所有地をまちなか観光案内拠点として、整備することを検討する。



▲現況写真 ※6月末には更地となる



▲位置図



札ノ辻高札場
伊勢参宮名所図会
より
寛政9年（1797）

- 所在地 大津市京町一丁目2番15号／上京町／京町通り（旧東海道）
- 事業者 株式会社まちづくり大津
- 補助事業 平成29年度地域・まちなか商業活性化支援事業補助金（専門人材活用支援事業）
- 事業内容
 - ①「札ノ辻高札場拠点整備事業」の実現性を高めるため、地域住民の意向や周辺マーケティングの整理を実施する。
 - ②地域づくり事業として広報活動を実施し、地域住民との連携を図る。
→（仮称）札の辻再興懇話会にて、複数の団体と対話。
 - ③事業始動に向けての具体的な実施計画に精度を高めるため周辺調査を実施する。
- 専門家 山本 敬二氏（フィールド・ハーツ研究所代表／平成22～26年度中小企業基盤整備機構近畿本部にて中心市街地サポートマネージャー（統括）として関西各地のまちづくり支援に従事）